

ほけんだより



貝塚市立
東山小学校
保健室No.3
平成23年4月14日

★4月の保健行事★

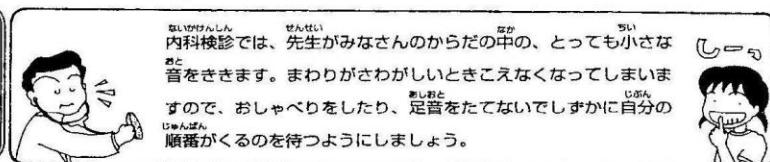
日時	学年	検診名	持ち物
15日 (金)	1・5・6年	内科検診	体操服
※午後1時からの検診なので、下校時刻が少し遅くなるかもしれません。			
18日 (月)	1年生全員と2~6年の一部の人のみ	心臓検診1次	体操服
19日 (火)			
20日 (水)	1年生	視力検査	※めがねをかけている人は めがねを持ってきてください。
22日 (金)	4・5・6年生	内科検診	体操服
※午後1時からの検診なので、下校時刻が少し遅くなるかもしれません。			
25日 (月)	2・3年生	視力検査	※めがねをかけている人は めがねを持ってきてください。
27日 (水)	1・2・3年生 全員	ぎょう虫検査提出 尿検査提出	

* 心臓検診1次については、事前にお知らせプリントをお渡しします。

4月から5月にかけてはみんなの体を知るための保健行事がたくさんあります。体操服などの忘れ物がないように、お家を出るときにもう一度確認してみましょう。忘れ物ゼロで、気持ちよく元気に健康診断をうけていきましょう。



内科検診をするときの約束★



なりか けんしん
内科検診の
まえに、自分で
チェックしてみましょう。

脊柱側わん症について ~早期発見・早期治療が大事です!~

脊柱側わん症とは、身体を後ろから見たときに、脊柱が極度に横に曲がったり、傾いたりねじがあるものや、元にもどらなくなったものをいいます。原因の分からない特発性側わん症がほとんどで、発見された年齢で、乳児期側わん症、学童期側わん症、思春期側わん症の3つに分けられます。

側わん症の大多数は10~15歳にかけて発症する思春期側わん症で、特に女子に多く見られます。女子は11~12歳、男子は13歳ごろ急速に進展するといわれています。

近年の治療学の進歩により、側わん症は早期に発見されれば、簡単な装具を中心とした治療と、運動治療法でわん曲の進行を阻止することができるようになりました。

学校の内科検診でも診てますが、ご家庭でも下記により「せぼねチェック」をすることは、早期発見のため、非常に重要になります。一度チェックしてみて下さい。また、気になることがありましたら、病院へご相談されることをおすすめします。

せぼねチェック!

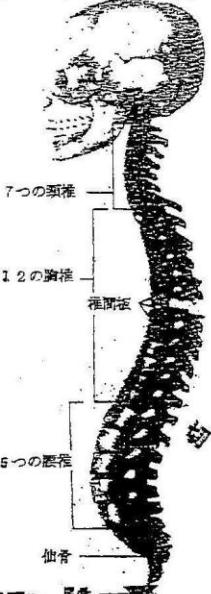
◆けんこう骨の高さは
同じですか?



◆おじぎしたときの背中の
高さは同じですか?



脊柱側わん症の予防



～背骨の仕組みとはたらき・良い姿勢を習慣に～

背骨は曲がりやすくできています。なぜなら、たったひとつの中ではなくて、左の絵のように、26個のチェーンのようにつながり、重い頭を支えているからです。骨と骨の間にはやわらかい骨があり、これを椎間板といい、骨と骨をつなぐ間接の役割をしています。

背骨の中には、脊髄といって、とても大切な働きをする神経の束が通っていて、脳の神経とつながっています。私たちが手を動かしたり、足を動かしたり、痛みを感じたりできるのは脊髄がきちんと働いているからです。また、急にボールが飛んできたとき、反射的によけたりする反射運動も、脊髄が働いている証拠です。そんな大事な背骨をしっかりと支えているのが背中の筋肉です。背筋をしっかりと伸ばし、胸をしっかりと張る良い姿勢、まさに《立腰》はこのことからも考えて、大事な毎朝の習慣といえます。

立腰について

毎朝8:30~「立腰」の放送が入ります。心を落ち着かせ、一日を気持ちよく始めるための姿勢を良くする時間です。ご家庭でも「立腰ってどうやるの?」と聞いてみて下さい。